

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	2	活動スペースを広げるため、無駄な物は省いたりロッカーの場所を移したりして対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3		利用定員に対する基準配置数に考慮して配置できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	2	現在肢体不自由な利用児がいないため、必要に応じて改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		職員全体で話し合いを持ちながら目標設定、実施、振り返りをしている。もう少し話し合いの頻度を増やしていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		アンケートを実施し、保護者の意向を受けて必要に応じた対応をとっている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	4		事業所評価をHPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2	県からの実地指導により定期的に改善点など確認を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2		事業所内での職員研修や、外部の研修に参加してスキルアップに努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		利用児童のアセスメントを職員全体で行い、保護者の意向を取り入れながら計画作成するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		法人で統一したアセスメントシート・フェイスシートを使用し、必要に応じて保護者に確認をとって更新している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4		担当を決め、主導を取りながら話し合いを持ち、共通理解した上でプログラムを組むようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		担当をローテーションしながら粗大・微細・机上・制作など様々な活動プログラムを組むようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		事前にスケジュールを決めて職員全体で共通理解し、安全に活動ができるよう配慮して支援にあたっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		障害特性や個々の成長に合わせて丁寧な支援計画作成を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		当日の支援内容、配慮点、役割分担等を確認し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5		支援中に報告・共有を行うと共に、緊急性のある事項は終礼にてきちんと情報共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			行動観察記録を個々に記入し、成長や課題等を確認し合っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	6ヶ月毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要な場合は実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2	研修にてガイドラインの確認をし、自立支援・創作活動を中心に児童同士のコミュニケーション力向上を目指して様々な活動を組み合わせている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	5	基本的には保護者から情報をいただくが、月間予定・下校時間表をいただいで把握するようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	2	医療ケアの必要な児童の受け入れは現在行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6	主に相談支援専門員との情報共有を行い、これまでの支援方法や現状等の情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5	2	低学年児童の利用しかなく、現在その状況にない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	研修には積極的に参加させていただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	2	放課後児童クラブの職員との合同研修に参加して情報共有等はしているが、児童同士の交流の機会は現在無い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	管理者が参加し、意見交換を行えている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			保護者への引き渡し時に状況を伝え合い、できるようになった事や見えてきた課題点など共通理解を持つようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	児童の課題について保護者と共通理解を図り、効果的だった支援方法を知らせたり課題を乗り越えるための手立てを一緒に考えたりしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3	見学时や契約時に丁寧な説明を心掛け、理解をいただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3	相談があった際は情報を整理し、自分一人では対応できない場合は上司に相談の上適切な助言ができるよう努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	4	父母の会や保護者会は現在開催していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情があった際は迅速に対応し、法人全体で対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	4	2	定期的には発行していない。行事等の通知はその都度連絡をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報の取り扱いについて研修を取り入れながら十分気をつけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			日々のコミュニケーションを大切にすると共に、絵カードなどの視覚支援も用いながら意思の疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	直接的な交流は持たないが、法人全体での作品展を開催し、周知するようにしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		それぞれマニュアルを作成し、職員に周知、非常時の保護者との連絡方法等共有を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		月一で簡易訓練、6ヶ月ごとに総合防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2		虐待防止研修に参加し、職員一人ひとりが意識を高められるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	6		現在身体拘束はないが、マニュアルは作成し、いつでも対応できる状態にしてある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		契約時に保護者に確認し、職員間で共通理解して支援を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			事例集を作成し、職員間で情報共有している。

児童デイSES天王町